

RI 第 2 6 1 0 地区 井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No. 1 2

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、(レイ・クリンギンスミス会長)

inashore@athena.ocn.ne.jp

2010-2011 年度 会長 山本武夫、幹事 助田幸雄

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、
大陸をつなぐ」

例 会 記 録

第 1 5 4 2 回例会

平成 2 2 年 9 月 2 9 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング 四つのテスト
3. ビジター：西川雄策君(南砺 RC)
4. 会員卓話：水島政光会員「第 2 回富山県曳山祭サミット」
5. 会長の時間：ようやく涼なくなってきました。西川雄策さん、ようこそ。ごゆっくりどうぞお寛ぎください。先日、第 3 4 回むし歯予防全国大会で北海道に行ってきました。行く 2-3 日前まで真夏日でしたが、そのころは急に涼しくなり、2 日目の大雪山黒岳へ行ったときは、摂氏 2 度でした。日本の紅葉は黒岳から始まるそうですが、今年の夏が暑かった所為か、紅葉がほんの少ししか見られぬうちに初雪が早くも降ってしまっていました。来月は職業奉仕月間ですが、米道会員のお世話で、第 2 例会でクレ射撃場で職場例会ができることになりました。また、月末に地区大会も迫っております。よろしくお願いいたします。
6. 幹事報告：交通死亡事故が多発しております。秋の交通安全週間中です。皆さんお気をつけて。例会変更がいくつか来ております。事務局にお尋ねください。
7. 委員会報告：①親睦活動委員会(斎藤副委員長)：10 月 20 日、秋の親睦旅行について、岩崎委員長からのご指示です。白山・中宮温泉方面で決めたので、皆さんの出欠をとります。②会員増強委員会(坂井委員

長)：その後皆さん具体的に動いておられますか？今度、会長と私とで、沖田悟氏のところを訪問します。

8. ニコニコBOX(本日 4 名 5000 円、9 月計 81000 円：木村会員お返し含む、年度計 236160 円)

荒木会員：秋本番です。すごしやすくなってきました。

河合会員：同級生と奈良・京都に行ってきました。

山本会長：第 3 4 回むし歯予防全国大会に札幌に行ってきました。木村先生、資料を有難うございます。

助田幹事：9 月定例議事が終了しました。

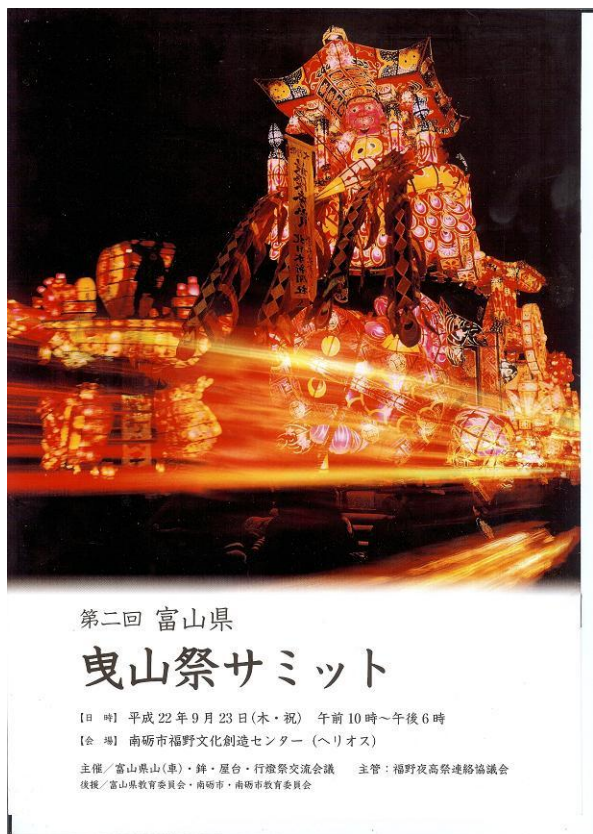
9. 委員会報告①出席委員会：19 名中 15 名出席(調整後 88.24%)・・・(お断り：9 月の出席率の算出に一部誤りがありました。訂正します。いずれも修正前の出席率；1 日、88.89%、8 日、72.22%、15 日 58.82%、22 日、77.78%・・・山本)



卓話「第2回富山県曳山祭サミット」

水島政光会員

水島会員：本日の卓話は、先日(9月23日)福野文化創造センター・ヘリオスにて開催されました、第2回富山県曳山祭サミットについて、関わったものの一人としてお話させていただきます。資料として、当日のプログラムを提供いたしますので、詳しくはこれをご覧ください。



このサミットは、富山県の山・鉾・屋台・行燈祭交流事業として富山県各地から参加を頂いて開催されたものです。サミットという言葉の意味はトップです。この言葉が使われたのは、1975年フランスで開催されました主要先進国首脳会議からだと思います。富山県曳山祭サミット＝富山県曳山祭トップ会議ということです。これだけ聞くと何か堅苦しい感じを受けますが・・・

さて、この事業は一昨年県教委が模索をしており、昨年高岡市が開町400年を迎えるにあたり、高岡御車山保存会が主幹となり8月2日に開催されました。福野夜高祭連絡協議会が夜高祭を何とか後世まで継承させようと4年前に発足しており色々取り組んでいるときに、高岡から参加要請があり、しかも事例発表をしてほしいといわれました。20分のプレゼンテーションを作成し8名で参加

しました。

会場に行き、始まりましたら100名ほどの参加のうち50名ほどが地元高岡市民で、残りが各地区からの人、我ら福野は目立つ存在となりました。しかも魚津の事例発表は祭のビデオを流すだけですので、福野はすごいやり手の組織であるという印象を与えてしまいました。その後、京都祇園祭の会長さんの祭の取り組み方の講演があり、懇親会の後、本来4月2日の伏木の曳山祭を実際に見せてもらい、十分に堪能して帰ってまいりました。

後日、高岡より連絡が入り、第2回は是非福野で受けてほしいとのことでした。役員招集して喧々譁々の議論を交わし、南砺市では城端が国指定の曳山であり、城端に話を持っていけ、それからでないと結論が出せないということになりました。城端に打診をしましたが、組織がしっかりしていないので出来ない、サミットには参加するから福野ですべてやってくださいということになり、5月の夜高祭の後、4カ月に渡りいろいろ準備に入ったのです。

今回のサミットには、24地区に呼びかけ16地区の参加を得ました。この近辺では、福光春祭り、井波よいやさ祭り、庄川の夜高祭にも声をかけましたが、参加頂けませんでした。非常に残念です。名前は堅苦しいのですが、中身は体験を踏んでの意見交換の場です。毎年開催されますので、是非ロータリーの会員の皆様からも参加を呼び掛けてください。

第2回の今回は、ヘリオスの会場で、曳山・屋台の関係資料を1日展示し、サミットは午後2時より開催し、オープニングは地元の夜高太鼓、夜高節、夜高踊、屋台庵歌、城端の麦屋節を披露し、基調講演は県教委生涯学習・文化財室文化財班長の松島吉信氏にして頂きました。それによると、富山県では、山・鉾・屋台・行燈と多くの祭りが継承されており、それを分類するとまず築山、曳山、庵屋台、行燈となります。①築山は、二上射水神社祭、放生八幡祭、②曳山は、Ⅰ花山型が、高岡・伏木・放生八幡・海老江・石動・福野・大門・氷見・四方、Ⅱ屋台人形型が、城端・八尾・福野・大久保高砂、Ⅲ子供歌舞伎型が、出町だけです。③庵屋台は、城端・井波・福光、今は出ていませんが福野にもあります。④夜高型は、福野・庄川・津沢・砺波・黒河、タテモン型は、魚津・岩瀬です。県内にはこんなに多くの曳山があります。交流を続けて情報交換し地域の文

化遺産を後世にしっかりと伝えてくださいと、講演を締めくくられました。

その後は、事例発表を、砺波子供歌舞伎曳山振興会と八尾曳山保存会からして頂きました。双方とも、資金集め、担ぎ手、世話方が大変で、砺波は毎年小松より招いて歌舞伎指導をして頂いているとのことで、八尾は、坂の町で担ぎ手を確保するのが大変ということでした。金も掛かるし、少子化でもあり、だんだん人集めが難しくなっていることや、懇親会の場合でも、何とか先輩より受け継いだ文化遺産を不景気風に飛ばされないようにしっかり続けていきたいと皆さんが話しておられました。参加された関係者の方は、来年は射水市(新湊)、再来年は魚津市と開催の道筋をつけたことに安堵し、福野夜高祭連絡協議会の世話に感謝され、帰途に着されました。(ここまで、水島さん提出された抄録を、山本が加筆修正を加えました。)



後日談として、サミットの記録を取ろうと準備していたのですが、参加申し込みしてない団体が突如来られ、慣れていない受付は大パニックになり、自分はそこにくぎ付けになってしまいました。懇親会も、高岡で100名ほどだったので、同じくらいを予想していたのですが、140名の参加があり、これもうれしい誤算でした。

何年か前まで、そんなに祭が好きでもなかった自分がどうしてこうなったのか、思い起こしてみますと、町内の友人の竹沢さんが、宝くじが当たって、有効活用しようと、当時の教育長などの相談し、曳山を修理しようということになり、曳山保存会ができ、そのメンバーとなったのがのめりこんでいったきっかけです。また、4年前ほどから、町内の祭りオタクの石崎議員が、夜高祭を賑やかにしようと7町から役員を出してもらい連絡協議会を作り、広告など資金集めをし、市町村補助事業の補助金(300万)も確保したことで、その仕事にも関わりました。今は夜高祭は1000万規模で動いています。東京や名古屋、京都、四国まで、宣伝したりしています。



【質疑応答：河合会員】多くすることばかりでなく、規模を縮小しても、神事を中心に厳かな雰囲気を出すような昔の祭りに戻ったらいかがか、大阪の岸和田市の祭りのように1日目観光、2日目が神事・けんか祭りというものもある。【水島会員の回答】昔からの福野の伝統があり、できることとできないこともある。けんかを売り物にしている祭りの宿命もあり、夜高を残して飾ることはできないつらさがある。